

カンサス州：小麦作柄と気象状況

2004年3月3日

2004年2月29日現在：

カンサス州東北地区（NE）では2月の始めの週に降雪がり、終わりの週には降雨があった。しかし、州西部地方は乾燥気象（2月の降水量ゼロ）が続き、小麦は極めて水分を必要とする状態となった。西部3地区の最高気温は71～74度F、最低気温は2～-4度Fであった。

2月29日現在の凍害状況は、67%の小麦で no damage、21%で light、9%が moderate damage、severe damage が3%であった。3%の小麦に severe damage の風害が報告された。小麦の作柄は1月より多少悪くなった。

土壌水分状況：2004年2月29日現在

Topsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	51	42	88	2	18	17	2	0	0	18	19	16
Short (%)	30	40	12	24	19	25	42	16	0	22	36	44
Adequate (%)	19	17	0	71	56	44	56	78	70	52	38	37
Surplus (%)	0	0	0	4	7	14	0	6	30	8	7	3

(Week とは Last week を意味し、Year とは Last year を意味する)

小麦作柄状況：

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
January 31 (%)	12	20	28	35	5

Source：Kansas Agricultural Statistics Service

2004年1月USDA発表の小麦作付面積、収穫面積、単位収量及び生産量：

2004年産冬小麦の作付面積は、9,900,000 エーカーであり、これは2003年産作付面積（10,400,000 エーカー）に対し5%減となった。

2004年産作付品種の人気順位は、昨年同様トップはJagger（40.9%、2003年：35.9%）であった。第2位はカンサス大学にて育成された品種2137で作付面積は全体の8.6%（昨年：21.9%）、続きTam 110（4.2%）、Trego（3.5% Hard White）、そして第5位は新品種のJagalene（3.0%）であった。Hard WhiteのTregoは2003年の倍近い増加である。作付地区はNW（8.1%）、WC（11.1%）に集中し、新品種Jagalene（HRW）はSC及びSEに集中している。

冬小麦作付面積及び収穫面積

Crop	Area Planted (1,000 acres)			Area Harvested (1,000 acres)		
	2001	2002	2003	2001	2002	2003
Wheat						
Winter	9,800	9,600	10,400	8,200	8,100	10,000

冬小麦単位収量及び生産量

Crop	Yield (bushels/acre)			Production (1,000 bushels)		
	2001	2002	2003	2001	2002	2003
Wheat						
Winter	40.0	33.0	48.0	328,000	267,300	480,000

当該作物と気象報告に関しましてご質問は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃：e-mail ogawa.max@omicnet.com